

令和3年度事業報告書

事業の概要

令和3年度（以下「今年度」という。）においては、一般法人法等の関連法案及び定款に遵守した会の運営に務めるとともに、定款に定めた目的及び事業を達成するため、当該年度事業計画の活動指針に沿って、教育・学術・文化の振興のための各種事業を滞りなく実施した。

また、6月開催の定時社員総会において、任期満了に伴う理事を改選し、新理事を選任するとともに、社員総会終了後開催の新理事による理事会を開催し、会長、副会長、専務理事及び常務理事を互選し、新たな執行体制を構築した。

計画していた各種事業について、平成10年の授賞制度改正以降、24回目を迎えた令和3年度アカデミア賞表彰事業は、会員から推薦のあった候補者について、選考委員会において慎重に選考を重ね、理事会の議を経て、文化部門1名、文化・社会部門1名、社会部門1名、計3名の受賞者を決定した。授賞式は、多くの会員の協賛のもとに盛大にかつ好評のうちに催された。

この詳細については、本会HP及び会誌ACADEMIA No.185 2022.2に掲載されている。

第10回（2021年度）アカデミア教育研究助成事業は、会員のほか各都道府県及び政令指定都市の各教育委員会、並びに関係教育機関へ応募要項を送付するとともに、本会HPに掲載するなど広く周知を図り、2件の応募が得られた。選考委員会において選考を重ねた結果、2件とも助成するに至らない内容だったため、理事会の議を経て、今回は該当無しとした。

講演会等の開催については、恒例のアカデミア賞受賞者による記念講演、及び3月に2022年沖縄シンポジウム「琉球の島々から日本の行く末を見据える」を開催した。アカデミア賞受賞記念講演は会誌アカデミアNo.185 2022.2、沖縄シンポジウムは会誌アカデミアNo.186 2022.4並びに本会HPにもこれらの詳細を掲載している。

昭和21年創刊の機関誌「会誌ACADEMIA」は、2012年以降環境に関連する課題を取り上げ、今年度もさらなる充実を図るとともに、多くの関係者の協力を得て滞りなく5回刊行し、会員及び関係機関等に広く配布した。

主な事業

1. 教育・学術・文化の振興のための顕彰及び助成

1) 文化・社会及び国際交流に著しく貢献した人材に対するアカデミア賞の授与

令和4年2月5日（金）都ホテル京都八条において、令和3年度アカデミア賞授賞式を挙行し、次の各氏に対しアカデミア賞を授与した。

【文化部門】

佐藤文隆氏：京都大学名誉教授

授賞理由：「富松—佐藤の解」の発見をはじめとする理論物理学の世界的な研究業績並びに現代物理学の進展と普及に寄与した功績

【文化・社会部門】

石田 秀輝氏：地球村研究室代表、一般社団法人サステナブル経営推進機構理事長
東北大学名誉教授

授賞理由：“ネイチャーテクノロジー”の提唱・開発を通じ、いのちの循環とものづくりに基づいた持続可能な社会の実現に寄与した功績

【社会部門】

江崎 貴久氏：海島遊民くらぶ代表、伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協会会長

授賞理由：環境保全と地域振興を両立させた成幸エコツーリズムの創造・実践を通じ、共に支え合う共生社会の実現に寄与した功績

2. 教育・学術及び文化に関する講演会及びセミナー等の開催

1) 本部主催講演会等

①2022年沖縄シンポジウム「琉球の島々から日本の行く末を見据える」

開催日時：令和4年3月13日（日）13時～17時30分

開催場所：ホテルロイヤルオリオン

I 趣旨説明	京都大学名誉教授・全国日本学士会理事	田中 克
II 基調講演「南シナ海の島々から」	海洋冒険家	八幡 暁
III パネル討論		
(コーディネーター：一般社団法人サステナブル経営推進機構理事長		石田 秀輝)
話題提供1 「宮古島から」	琉球大学島嶼地域科学研究所講師	山極 海嗣
話題提供2 「与論島から」	琉球大学人文社会学部准教授	高橋 そよ
話題提供3 「久米島から」	NPO 法人ガイア・イニシアティブ代表	野中ともよ
話題提供4 「沖永良部島から」	oldie-village 代表	古村英次郎
話題提供5 「サンゴ礁の島々から」	東京経済大学経済学部准教授	大久保奈弥
IV 総合討論		

②令和3年度アカデミア賞受賞記念講演

開催日時：令和4年2月5日（金）11時～12時30分

開催場所：都ホテル京都八条「陽明殿」

佐藤 文隆氏：京都大学名誉教授

演題：「宇宙の物理 — 時代のうねりの中で」

石田 秀輝氏：地球村研究室代表、一般社団法人サステナブル経営推進機構理事長

演題：「未来の子供たちに素敵なバトンを手渡したい！」

江崎 貴久氏：海島遊民くらぶ代表、伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会会長
演題：「住民参加の観光振興―誰にも優しい成幸エコツーリズム」

3. 機関誌の刊行

『会誌ACADEMIA』の発行

- №181 2021.4 「東日本大震災から10年目を迎えて―女性視点から考える三陸沿岸の未来―」
「女性視点から考える〈三陸世界〉」 宮城教育大学准教授 山内 明美
「住民の生活再建、なりわいの再生を最優先とするために」
ドキュメンタリーアイズ代表・映像制作者 小西 晴子
「東北の祈りのかたち―キリコ」 歌人・上山八幡宮禰宜 工藤 真弓
「南極と震災と南三陸」 南三陸町在住 石井 洋子

「被災地の自然を見つめて」
(株)佐久企画研究課長・南三陸ネイチャーセンター友の会 理事 大淵香菜子
「うみさと暮らしのラボ～この土地でつづく暮らし、女性たちとともにつくる未来」
特定非営利活動法人ウィメンズアイ理事 塩本 美紀
「阪神淡路大震災から東日本大震災へ～伝えて、つながる」
(その1) 2011年、神戸、東京での復興支援から女性の復興カフェまで
(その2) 災害の語り継ぎと全国被災地語り部シンポジウム
大阪府立大学人間社会システム科学研究科客員研究員 山地久美子

○№182 2021.7 「防災と環境」

- 「荒ぶる自然とどう共生したらいいのか?～『流水型ダム』はほんとうに自然に優しいのか?～」
新潟大学名誉教授 大熊 孝
『「流域治水」は住民と行政の「楽しい覚悟」から～人口減少時代の骨太の国土再生思想を～』
参議院議員 嘉田由紀子
「流域治水における田んぼダムの可能性」 新潟大学農学部教授 吉川 夏樹
「治水と風景 共生のデザイン」
熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター准教授 星野 裕司
「地域の環境を生かした伝統的河川技術～佐賀県松浦川の伝統知に学ぶ～」
第一工科大学自然環境工学科准教授 寺村 淳
「社会的共通資本としての流域治水」 拓殖大学政経学部教授 関 良基
「野生の空海：土木と神話的思考」 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島 岳志
『諫早湾干拓事業の「防災」機能を検証する』
有明海漁民・市民ネットワーク事務局長 菅波 完

○№183 2021.10 「2050年の持続可能な社会のビジョンを描く

：脱炭素・自然共生・循環型・地域自立型で人間らしく生きられる社会」

巻頭「2050 ネットゼロ社会への移行の課題（主としてガバナンスの観点から）」

京都大学名誉教授 松下 和夫

『多様なアジア諸国で形成される温室効果ガス排出量「ネット・ゼロ」という世界の展望』

(公財)地球環境戦略研究機関 (IGES) 気候変動とエネルギー領域研究員 栗山 昭久
有野 洋輔

「未来のためのエネルギー転換」

東北大学東北アジア研究センター・同大学院環境科学研究科教授 明日香 壽川

「自然生態系を置き去りにする日本の脱炭素」 ジャーナリスト 河野 博子

「まちの未来像を変える地域エネルギー事業」

認定 NPO 法人環境エネルギー政策研究所 (isep) 主任研究員 (理事) 山下 紀明

「脱炭素社会に向けた国際交渉はどうなるか COP26 の課題」

認定 NPO 法人気候ネットワーク主任研究員 伊与田 昌慶

「海洋ごみガバナンスへの挑戦：ポスト・プラスチック社会を求めて」

大阪府立大学人間社会システム科学研究科准教授 千葉 知世

『「多元分散型の自然共生圏」を創造することは可能か?』

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構准教授 田中 俊徳

「持続可能な発展論から見た河川政策の課題」

金沢大学人間社会研究域法学系准教授 大野 智彦

○№184 2021.12 「『成長の限界』とその先の未来」

<巻頭エッセー>

「『成長の限界』とその先の未来～『ピーク』の先に広がるニュー・ローカルの創造に向けて～」

清泉女子大学教授 山本 達也

<第1部> 「成長の限界」に直面する世界

「『ピークオイル』で読み解く『脱炭素』と「脱成長」」

エネルギーアナリスト・ポスト石油戦略研究所代表 大場 紀章

「文明の冬を越す知恵の種」

金沢美術工芸大学教授 大谷 正幸

<第2部> 「成長の限界」後の社会像に向けた取り組み

「『その先の未来』」としてのトランジションタウンの現在～千葉県いすみ市の事例を中心に～」

greenz.jp 編集長 鈴木 菜央

インタビューアー：清泉女子大学教授 山本 達也

「今こそ『人間基準』から『山基準』へ～日本発《じねん》が世界の未来を拓く～」

株式会社柳沢林業代表取締役・一般社団法人ソマミチ理事長 原 薫

「共感資本社会の実現にむけて」

株式会社 eumo 代表取締役

ソーシャルベンチャー活動支援者会議 (SVC) 会長 新井 和宏

「電子地域通貨による社会のデザインという試み」

山梨県立大学国際政策学部国際コミュニケーション学科准教授 兼清 慎一

○№185 2022.2 「令和3年度アカデミア賞」

・令和3年度アカデミア賞受賞者業績概要

「文化部門」

京都大学名誉教授 佐藤 文隆

「文化・社会部門」

地球村研究室代表、東北大学名誉教授

- | | | |
|--------------------------------------|-----------------------|-------|
| | 一般社団法人サステナブル経営推進機構理事長 | 石田 秀輝 |
| 「社会部門」オズ代表取締役、伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会会長 | | 江崎 貴久 |
| ・アカデミア賞受賞者記念講演 | | |
| 「宇宙の物理 — 時代のうねりの中で」 | 京都大学名誉教授 | 佐藤 文隆 |
| 「未来の子供たちに素敵なバトンを手渡したい！」 | | |
| 地球村研究室代表、一般社団法人サステナブル経営推進機構理事長 | | 石田 秀輝 |
| 「住民参加の観光振興—誰にも優しい成幸エコツーリズム」 | | |
| オズ代表取締役、伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会会長 | | 江崎 貴久 |
| ・アカデミア賞授賞式・祝賀懇親会 | | |
| ・アカデミア賞歴代受賞者一覧 授賞制度改正（平成10年度）以降 | | |

4. その他の事業

「理事会・定時社員総会開催」

①第1回理事会

日時：令和3年6月2日（水）午後2時～2時30分

場所：都ホテル京都八条「桂の間」

- 議案：1. 令和2年度事業報告
 2. 令和2年度収支決算
 3. 令和2年度公益目的支出計画実施報告書

②定時社員総会

日時：令和3年6月18日（金）午後2時30分～3時

場所：都ホテル京都八条「桂の間」

- 議案：1. 令和2年度事業報告（報告）
 2. 令和2年度収支決算
 3. 令和2年度公益目的支出計画実施報告書（報告）
 4. 役員(理事・監事)改選

③第2回理事会

日時：令和3年6月18日（金）午後3時～4時

場所：都ホテル京都八条「桂の間」

- 議案：1. 会長、副会長、専務理事、常務理事選任
 2. 評議員改選
 3. 令和3年度アカデミア賞選考委員会設置
 4. 顧問推薦

④第3回理事会

日時：令和3年11月19日（金）午後2時～3時

場所：都ホテル京都八条「桂の間」

- 議事：1. 令和3年度アカデミア賞選考
2. 第10回(2021)年度アカデミア教育研究助成選考
3. 沖縄シンポジウム「琉球の島々から日本の行く末を見据える」開催(報告)
4. 全国日本学士会会館敷地買収

⑤第4回理事会

日時：令和2年3月25日(金)午後2時～4時

場所：都ホテル京都八条「桂の間」

- 議事：1. 令和3年度事業報告
2. 令和3年度収支決算
3. 令和4年度事業計画
4. 令和4年度収支予算
5. 令和4年度定時社員総会開催
6. 令和4年度アカデミア賞選考委員会設置
7. 第6次アカデミア教育研究助成選考委員会設置
8. 全国日本学士会会館敷地買収(報告)
9. 業務執行理事(会長・専務理事)の職務執行状況(報告)